

火葬技術管理士会とは

平成15年からスタートした日本では唯一といわれている火葬に関する資格制度「火葬技術管理士通信教育」の修了者から、「火葬業務について、なかなか相談する相手や機会も少なく、修了を機に情報交換や交流を図る場として全国組織を結成してほしい。」という強い要望や、また火葬業務従事者やそれを取り巻く社会的な地位の向上につなげたいという思いから、平成16年10月に日本火葬技術管理士会を設立しました。

その後任意団体として地道に活動を続けていましたが、設立10年の節目を迎えるに際して、任意団体ではなく法人格を取得して地に足を付けた力強い歩みにしようという会員の皆様からの熱意で、平成27年に一般社団法人として力強く再スタートを切りました。



本会の
シンボルマーク・ロゴタイプ

楽曲「千の風になって」をモチーフに、野原を渡る風を図案化したシンボルマークです。

ロゴタイプには日本火葬技術管理士会 Japanese Cremation Professional Organization の頭文字を配置し、日々遺族に向き合う真摯でクリーンなイメージをシンプルにまとめました。

(平成29年10月一般公募により決定)

火葬技術管理士通信教育とは

火葬場管理者（場長又は所長）及び火葬の技術的な責任者、または火葬炉の維持管理を担当する火葬専門技術者としての適格者である火葬技術管理士（1級・2級）を通信教育の方式で養成するものです。

現在、地方公務員や民間従事者の資格取得者が火葬場で、火葬場管理者から係員に至るまで広く活躍しています。

通信授業の期間は3ヶ月間で、3分冊のテキストを1ヶ月で1分冊ずつ学習した後、〇×式などの回答とレポートを提出。提出いただいた回答やレポートについては添削（採点・指導）し返送します。

面接授業は1日のみで、通信授業終了後に川崎市周辺や大阪市周辺で行います。

全課程を修了すれば、当会認定の火葬技術管理士（1級・2級）の資格が取得できます。

詳しくはホームページをご覧ください。
NPO法人日本環境斎苑協会
<http://www.j-sec.jp/>



一緒に活動しませんか!

一般社団法人
日本火葬技術管理士会



〒210-0828
神奈川県川崎市川崎区四谷上町10-6
TEL 044-270-0123
FAX 044-270-0766
MAIL kasou.kanrisikai02@gmail.com

毎年10月に全国持ち回りで開催されている「生活と環境全国大会」(主催:一般財団法人 日本環境衛生センター 後援:環境省、厚生労働省、開催都道府県、開催市)とタイアップして「日本火葬フォーラム」を開催し、会員相互の情報交換と交流を深め自己研鑽を図っています。

回	開催年月	開催市等 視察斎場	会場
第1回	平成27年10月	京都市 京都テルサ 京都市中央斎場	
第2回	平成28年10月	川崎市 産業振興会館 厚木市斎場	
第3回	平成29年10月	四日市市 文化会館 桑名市斎場おりつるの森	
第4回	平成30年10月	福島市 コラッセふくしま 岩沼市斎場	
第5回	令和 元年10月	熊本市 熊本城ホール 熊本市斎場	
第6回	令和 2年10月 (新型コロナウイルスにより中止)	金沢市 金沢歌劇座 ルスにより中止	
第7回	令和 3年10月	東京都 御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター 臨海斎場	



情報交換・交流の場

(日本火葬フォーラムの開催等)

機会あるごとに全国の火葬場を視察し、火葬場が抱える問題点等を把握するとともに、各火葬場の優れた技術を吸収し会員の皆様と共有することにより、火葬技術の向上を目指しています。

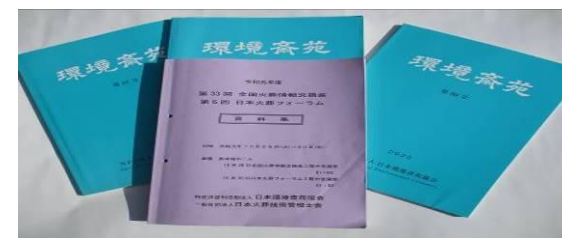


視察・研修の場

(各地の火葬場を視察)

NPO 法人日本環境斎苑協会が発行する機関紙「環境斎苑」(本会と共同発行)等や日本火葬技術管理士会のホームページを通じて火葬や火葬場等に関する最新の情報を、より早く正確に力強く発信しています。

また、火葬に関する疑問等がありましたら、いつでも事務局までお問い合わせください。誠意を持ってお答えさせていただきます。



一般社団法人日本火葬技術管理士会

<http://www.kanrishikai.sakura.ne.jp/>



「火葬場の近代化」への礎となる、「人の近代化」を目指し、火葬従事者の資質の向上と社会的地位の向上をもって火葬事業の健全な発展に寄与することを目的とします。

情報発信の場

(機関紙・ホームページ等)